鎌倉の温古堂
創業一七〇周年
仏壇・仏具・御宮
神具・香・香炉
フーフでナムナム
☎〇四六七(22)七六七六

12月1日号
2017年(平成29年)
第465号
毎月1日発行
(一部税込108円)
朝日新聞の姉妹紙
http://kamakura-asahi.com

鎌倉朝日

© 発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町２丁目８番１３号 2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉峰木
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

第十回予告篇ZEN映画祭

小津安二郎監督ゆかりの禅寺で豪華ゲストを迎えて上映会

映画文化の振興を目指し、映画の予告篇の紹介を切り口に多様な映画に出合える場づくりをしているNPO法人湘南遊映坐（岡博大理事長）が、10周年&東日本大震災・熊本地震復興支援チャリティー特別企画の「第十回予告篇ZEN映画祭」を開催している。

2008年にスタートして今年10回目の映画祭。短編的に映画作品の魅力を伝えている予告篇を毎年選んで上映し、観客投票で入選作品を決めている。2008年は「おくりびと」、2011年「天のしずく」、2015年「正しく生きる」等が大賞に選ばれた。

プレイベントが11月23日に江の島ヨットハウスで開かれ、12月には「映画の詩人」をテーマに北鎌倉の禅寺で上映会や特別ゲストのトークなどを予定している。

▽きたかまくら遊映坐 12月3日浄智寺。9時、坐禅体験、11時「大人の見る絵本 生れてはみたけれど」（小津安二郎監督、1932年）。15時、詩人・谷川俊太郎さんのトークと詩づくりのワークショップ。

▽みんなの小津会Ⅰ 12月9日建長寺。10時、小津監督の墓参り。13時半、「麦秋」（小津監督、1951年）。16時、俳優・加瀬亮さんと小津組プロデューサー・山内静夫さんの対談。

▽みんなの小津会Ⅱ 12月10日建長寺。10時半、建長寺さんぽ。13時半、「東京物語」（小津監督、1953年）。16時、「小津映画と俳句と予告篇」をテーマに俳人・長谷川櫂さんのトークと俳句づくりのワークショップ。

各日午後から「予告篇大賞」「映画チラシ大賞」「歴代名作予告篇集」上映なども行われる。

小津映画の魅力を若い人にも継承しようと開かれる「みんなの小津会」。岡理事長は「気軽に見に来て、映画だけでなく、上映する場所の持つ力、雰囲気を味わい、人との交流を楽しんでほしい」と話している。

各日前売3500円／当日4500円／学生と18歳以下は5百円引。湘南遊映坐☎0466・65・0123

小津安二郎監督（画・那須良輔）

小学校にカレンダー寄贈 鎌倉市観光協会

鎌倉市観光協会（大森道明会長）は11月10日鎌倉市内19（国公立17・私立2）の小学校に同会制作の2018年版カレンダーを寄贈した＝写真。子どもたちが同協会の活動と、鎌倉の歴史遺産や伝統行事を知るきっかけにしてもらおうと今年初めての試み。

鎌倉市教育委員会の安良岡靖史教育長は「子どもたちが鎌倉を知る場面で有効に活用したい」と礼を述べた。カレンダーは中面の特集でご紹介。

平和の鐘を鳴らそう

鎌倉ユネスコ協会

鎌倉ユネスコ協会（佐藤美智子会長）の「平和の鐘を鳴らそう！」の催しが11月18日鎌倉市長谷の鎌倉大仏殿高徳院で行われ＝写真、午前11時半、市内の11カ寺とカトリック雪ノ下教会で鐘が鳴らされた。

聖心や清泉女子大学の留学生らも参加し、スペイン語や中国語などで平和宣言を唱え祈りを込めて卓上の鐘を鳴らした。

鎌倉 みほとけ紀行 (77)

満願寺 毘沙門天立像

題字は建長寺派管長 吉田 正道

文 永井宗直
写真 原田 寛

今世紀最大といわれた「運慶展」（9／26～11／26上野東博）は連日、満員御礼だったそうです。実は当山、満願寺の観音菩薩・地蔵菩薩も御出張あそばされました。内覧会に招かれ、会場に立ち並ぶ運慶の最高傑作の数々は圧巻感動的でしたが、私は同時にうちの観音様お地蔵様は他のスゴイ仏様に囲まれ、びびっておられるのではないかと余計な心配をしてしまいました。しかし運慶さまの血を引くお二人さん（観音・地蔵）は立派に会場に立っておられました。

さて、そんなお二人の留守をしっかり守って下さったのが今回の御仏『毘沙門天立像』です。

中国の武人のような甲冑を身につけ邪鬼を踏みつけ腰に手を当てた姿はとても逞しく、東国武士の気風にかなうものです。毘沙門天は四天王の一つ多聞天とも称され、北方を守る護神。常に仏を守護され、法をよく聞き、その福徳が遠く十方に聞こえるがゆえに多聞天と呼ばれたそうです。

また仏教がまだ説かれる以前に財宝、財富の神と伝えられ、やがて仏教にとり入れられ、七福神の一つにもなっています。とりわけ貧乏神を追い払う力があるといわれ、財を富ませ福を授ける神として民衆に深く信仰されました。満願寺では観音・地蔵の脇侍のようになっていますが、単独としても民衆にとても厚く信頼されていたのです。

近年知りましたが1961年（昭和36）までは三浦八毘沙門霊場が定められ御開帳がなされていたようです。びっくりです。満願寺は三浦観音霊場・三浦地蔵尊霊場・三浦不動尊霊場、この三つの霊場に属し、毘沙門さんだけは外れているのかとばかり思っていたのですが、毘沙門霊場もあったのです。現在はご開帳が途絶えてはいますが、いつの日か三浦毘沙門霊場のご開帳が復活され四大霊場として人々の願いが満つることを願ってやみません。

寄木造、玉眼、彩色。像高164・5㎝。鎌倉時代。

鎌倉の年中行事 12月

▼御鎮座記念祭 16日10時、鶴岡八幡宮。17時半、神楽奉納。

▼歳の市 18日10～20時頃、長谷寺参道。だるまや熊手の縁起物、しめ飾りなどの露店が並ぶ。17時～拝観無料。

▼大祓・古神礼焼納祭 31日鶴岡八幡宮。大祓11・13・15時。古神礼焼納祭16時。

▼除夜祭 31日17時、鶴岡八幡宮。

▼除夜の鐘のつける寺 円覚寺内正続院、建長寺、大船観音寺、光明寺、浄光明寺、青蓮寺、瑞泉寺、東慶寺、長谷寺、本覚寺、杉本寺、満福寺、妙本寺、薬王寺、龍宝寺、浄智寺など。（詳細は各寺へ）

プロムナード

どこからどこまでが湘南エリアなのでしょうか▼鎌倉を走る路線バスのナンバープレートもオリパラ版に変更され、スポーツの祭典が近づいていることを感じさせます▼そんな鎌倉市のナンバープレートは横浜ナンバーですが、市内では湘南ナンバーも多く見かけます▼神奈川県ホームページでの鎌倉市は、湘南地域ではなく横須賀三浦地域となっています▼そのような中、鎌倉市がサッカーJリーグ湘南ベルマーレのホームタウン（本拠地）に追加されることが決まりました▼鎌倉市からは多くの女子サッカー選手が育っています。ホームタウン追加を機に芸術文化だけでなく、スポーツの分野でも様々な活動がされることを期待しています。（N）

鎌倉の街並と
日本人の心に馴染む家づくり
KAMAKURA STANDARD
戸井田工務店
〒248-0007 神奈川県鎌倉市大町5-5-9
TEL.0467(24)7777(代) FAX.0467(24)7005
http://www.kamakura-standard.com

鎌倉石屋
極花はんぺん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/